

意義問われた「第2回」



八月から名古屋市などで開かれ、二十七日に幕を閉じた国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2013」。東日本大震災を意識させる「揺れる大地」われわれはどこに立っているのか：場所、記憶、そして復活」をテーマにした七十九日間の芸術祭は、どんな成果と課題を残したのか。取材した記者五人が話し合った。

記者座談会

(上)

「今回は成功だったか、前回と比べてどうか。」

記者A 名古屋市だけでは愛知県岡崎市が会場になったり、移動展示があったりと、広がりを感じられた。前回は開幕後でさえ、タクシーで「それって何？」と聞かれることがあったが、今回は当初から認知度が高かった。

記者B 来場者を見ていて気づいたのは、子どもや家族連れ、カップルがすごく多いこと。普段の堅い美術展より年齢層がぐっと低い印象を受けた。カメラを持っていた人が多いのも印象的。多くの作品が撮影が可能だったからだろう。アートに触れる、親しみやすいアートという点では良かったのではないかな。

記者C ただ劇場や街中でのパフォーマンスアート(身体表現)の観客動員は、主催公演の規模や本数が縮小されて減った。このうち、名古屋・栄のオアシス21で二日間あった即興合奏イベント「フェスティバルFUKUSHIMA! in AICHI」は、

成果 アート親しみやすく



「フェスティバルFUKUSHIMA! in AICHI」は2日間で延べ約1万5000人が来場した＝名古屋・栄のオアシス21で

立ち見もこみで延べ約一万五千人と大きな割合を占めたけど。

記者D オペラ以外の劇場での主催公演も席数百五十前後の愛知県芸術劇場小ホールばかり。可変式の席数を絞っても、延べ三十五回で約五千人しか入らず、満席が続出した前回に比べて苦戦した。唯一、大ホールを会場にしたオペラ「蝶々夫人」が完売したのに対して、観客動員が楽勝と思われた小ホール公演が中盤以降は難解な先鋭性が際立ち、客足が鈍った。

記者E 観客の人数はどろどろと前回は低調と感じた。国際芸術祭をうたっているけれど、外国人の姿をあまり見かけず、国際的な注目度の低さも感じたね。このトリエンナーレは何のためにやっているのか、アートを活用した都市の活性化か、夏場の観光客集めなのか。ミッション(使命)をきちんと整理してみないと、三回目はきついのではないかな。



宮本佳明「福島第一原発神社」＝名古屋・栄の愛知芸術文化センターで

「暗い」という声も聞いた。B 思ったよりテーマにこだわった作品が多かった。社会性が強いというか、考えさせる芸術祭になったのは実感できた。半面、昔つくった作品も多く、芸術家が挑戦したというより、テーマに合わせて作品を集めた感はある。C 難解になりがちなら不条理劇をユーモアと機知でかみくだいた柴幸男や、身体表現を光と音のデジタルアートと同次元で扱った梅田宏明のダンス公演、熱帯

「揺れる大地」のテーマはどうだったか。A 東日本大震災を意識させるテーマは社会性があった。一回ごとに芸術監督もテーマも変わって、ゼロからのスタートとなる「あいち」は、その時々々の社会の動きを鮮やかに反映できる良さがあると思う。ただ、前回のテーマ「都市の祝祭」といった明るいイメージを期待してきた観客は戸惑ったかもしれない。

テーマ 社会性の傍ら、祝祭感

の密林が原点的のヒップホップで気を放ったジェコ・シオンボラ、現代アートの祭典らしい目配りの作品もあった。E このテーマは当初から「なぜ、愛知で」という疑問の声も多く聞いた。大震災後、普遍的なテーマかもしれないが、遠隔地である意味は何か、整理して提示することも必要だったのではないかな。阪神大震災後は、地元でアーティストらが芸術の意味を問う試みも出ていた。アウシュビッツを訪ねたすぐ後に、鉄条網をモチーフにする芸術家のように、即席で大震災からイメージした直接的な作品が多かった。

D 作品の方向性に重いかせをかけられた主催公演の多くに対して、地元の十団体が参加した祝祭ウィーク公演は「揺れる大地」のテーマに呼応しつつ、より自由にテーマをそしゃく。約一万二千人の観客を集めた。楽しめるものが多く、何より主催公演に欠けていた祝祭感があった。C パフォーマンスアーツ部門は「揺れる大地」に続く「われわれはどこに立っているのか」をテーマの柱に据えた。二十世紀不条理演劇のベケットの世界観がこのテーマと相似形だとして、当初隠し味だったベケットがいつの間にか、あたたかもベケット演劇祭の様相を呈した。外部起用の部門総括プロデューサーの意向というが、まずベケットありきの作品選定や制作依頼は本末転倒だと思っ

E 何よりも旧作が目立っていたトリエンナーレだった。キュレーターが得意とする同じ作家を使い回しているような感じもあり、新鮮さという点では乏しかったね。会場構成をするために、何力所かで用いた作家もあったりした。